

まなぶんか

2023 WINTER No.39

古代の鏡



Contents

- P.02 宮崎の古代の鏡を見てみよう
- P.06 公益財団法人宮崎文化振興協会 設立35周年記念事業
「徳川宗家から見た日本の歴史と文化」
—黒潮連合が決めた関ヶ原の戦い—
職員のひとりごと
- P.07 イベントスケジュール
- P.08 まなぶんかQUIZ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
公益財団法人宮崎文化振興協会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

読めばわかる!

まなぶんかQUIZ



クイズにチャレンジして賞品をGETしよう!!
応募者の中から抽選でステキな賞品をプレゼント



●知られざる古墳ライフ

1名様



●歴史あそびセット
(日向神話かるた+古事記すごろく)

1名様



●縄文発掘セット
(土器発掘・復元体験キット)

2名様



●はにわスタンプ&スタンプ台セット

1名様

応募方法 2問のクイズの答えと住所・氏名・学年(職業)・電話番号・ご希望の賞品名・ご感想を書いて下記宛て先までご応募ください。



応募はこちら

宛て先 ハガキ▶ 〒880-0903 宮崎市太田3-1-31 北一株式会社「まなぶんか QUIZ」係
メール▶ E-mail: manabunkaquiz@gmail.com
または、二次元コードを読み込んでご応募ください。

お問い合わせ先 (公財)宮崎文化振興協会 TEL.0985-41-7004

締切 2023年1月31日(火)消印有効

当選は発送をもって替えさせていただきます。

前号の答え Q1 殻斗(かくと) Q2 アラカン

※応募に際し、ご記入いただいた個人情報は、抽選および賞品の発送以外の目的に使用することはありません。
※賞品はご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。

宮崎サンシャインFM
76.1Mhz
www.sunfm.co.jp
毎週水曜日8:00~10:55放送の
"from MORNING"内
「文化振興協会だより」にて催事情報を放送中!!

印刷、刺繍は北一へ
印刷会社ならではの「刺繍」をご提案いたします。
北一株式会社 宮崎市太田3丁目1-31
tel:0985-51-5100 email:info@kita-ichi.jp



編集後記

今回は「古代の鏡」を特集しました。私自身教科書で学んだことはありましたが、自身の杜遊古館に展示されているものを実際に目の当たりにして、千年以上前に作られた鏡がこうしてきれいに保管されており、昔の人の技術はすごいなと改めて感じました。
特集を組むにあたり、生目の杜遊古館の「いにしへの鏡づくり」講座にも参加しました。鏡などの合金を溶かして鏡の形になるまではずぐでしたが、そこから磨く作業がとても繊細で長かったです。講座では研磨剤などを使って2時間ほどで鏡を作ることができましたが、昔の人はひたすらに研いでいたのかと思うと、気が遠くなる仕事だと感じました。
講座を受けられた方はみなさん夢中で磨いていました。ピカピカになった鏡を見て満足されている方、時間が足りないという悔しさそうなる方、疲れてしまった子など反応は様々でした。
みなさまぜひ一度実物をご覧ください!
【経営戦略課 落合】

他にもあるよ！
見てみよう！！



珠文鏡【しゅもんきょう】 展示室4



直径6.9cm

5世紀中ごろに造られた「下北方24号地下式横穴墓」から出土しました。玄室内には珠文鏡のほか、勾玉や管玉、棗玉(アクセサリとして使われていた)といった副葬品も見られました。鏡の中心の周りには、小さな丸い玉状の文様(珠文)が見られます。

こんなふうに埋葬されていたんだね わかりやすい！



地下式横穴墓の様子が分かる模型です。縦に竝坑と呼ばれる穴があり、その奥に玄室(埋葬するところ)があります。鏡なども一緒に埋葬されていました。

小型仿製鏡【こがたほうせいきょう】 展示室1



直径4.9cm

宮崎市跡江の「石ノ迫第2遺跡」から出土しました。弥生時代の終わりごろ、中国の鏡をまねて日本列島で作られた小型の青銅鏡です。

鏡は弥生時代に日本列島に持ち込まれ、その後、日本でも製作されるようになります。光り輝く鏡面が鏡の表、文様が刻み込まれた鏡背が鏡の裏となります。青銅鏡はその名から青色や緑色と思われがちですが、本来は金色や白銀色で光沢があります。鏡は死者と一緒に埋葬されたり、祭祀(神や祖先を祭ること)の道具として使われたりしていました。

古代の鏡って何だろう？
次のページで
くわしく紹介するよ！



●下北方5号地下式横穴墓から出土した2面の青銅鏡

四獣形鏡【しじゅうけいきょう】

展示室2

中心部には鈕と呼ばれる紐を通すための半円形の突起があり、その周りに合計4体の獣(動物)の像が配置されています。この文様はかなり省略した表現がされていますが、勾玉のような浮き彫りも見られます。



●2体1組、合計4体の動物が表現されているんだって。何の動物が想像してみよう！



直径11.2cm

盤龍鏡【ばんりゅうきょう】

展示室2



直径12.1cm



中心部にある鈕の周りには2体の龍が表現されています。頭、首、胴、後足があり、間にある勾玉は2つ重なったような形です。

●2体の龍が浮き彫りになっているよ。頭は分かるかな？

ハニイ豆知識



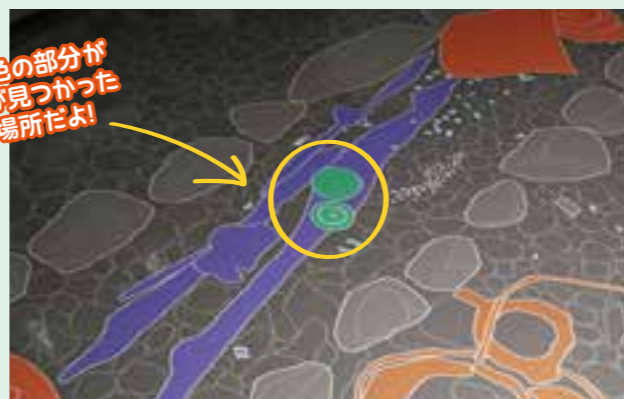
展示している鏡には、緑色や青色に見えるサビが付着しているんだ。このサビは緑青といわれ、酸素に触れる金属の表面にのみ発生するものなんだ。緑青には金属内部を腐食から守る効果があるので、あえて取り除くことはしないよ。



展示室では、実物大の玄室内の様子が分かります！

発掘された当時、玄室の中は、副葬品などが写真のイラストのように残っていました。鏡は刀剣類の上のついた状態でした。鉄製の甲冑や馬具、耳飾、農具なども一緒にありました。これだけの豪華な品々が一緒に埋葬されていたということで、ヤマト王権と深く関わった地位の人のお墓だと推測することができます。

緑色の部分が鏡が見つかった場所だよ！



玄室内をイラストにして分かりやすく説明しているよ！床にも注目してね！

宮崎市生目の杜遊古館
マスコットキャラクター「ハニイ」

宮崎にも古代の鏡が伝わっていた！

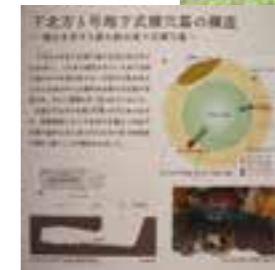
宮崎の古代の鏡を
見てみよう

宮崎市
生目の杜
遊古館



展示風景 ガラスケースに並べられています。文様や鏡の厚さなども、よく見てみてください。

下北方5号地下式横穴墓のある下北方9号墳とは？



解説パネル

これまでに確認されている地下式横穴墓の中でも奥行き5.5m、幅2.3mと最大級です。この横穴墓は、1975(昭和50)年、開墾中に発見されました。玄室(遺体を収める部屋)は9号墳の下にあり、内部からは貴重な副葬品(一緒に埋葬される品物)が発掘されました。出土品は国指定重要文化財となっています。



下北方5号地下式横穴墓玄室

2023年の秋ごろに開催予定

生目の杜遊古館で

いにしへの鏡づくり、体験してみませんか?



じゃーん!

鏡づくり製作のプロセス



1 ゴム製の鑄型表面・裏面を並べ、内側の模様部分に筆で白い粉(滑石)を薄くぬり鑄型が熱でとけないようにします。鑄型は内側どうしを合わせて閉じ、ゴムで固定します。



2 古代の鏡は、青銅で作られていました。ここでは低い温度でとける特別な金属を使います。鍋で熱すると1分ちょっとでとけ始めます。



3 とけた金属を鑄型の注ぎ口から流し込みます。このとき、鍋がゴムに当たらないように注意しましょう。口の部分までいっぱいになるのが目安です。



4 冷えて固まるまで、5分ほど待ちます。固まったら、型のゴムをゆっくりとはずして、鏡を鑄型から取り出します。



5 台ふきの上に鏡を置き、紙やすりで磨きます。力が入ると傷が入ってしまうので、指は添えるだけ。ゆっくり優しく、同じ方向に磨きます。



6 液状の金属磨き用研磨剤を木綿の布にしみこませ、同じくゆっくりと磨きます。最後にさらに目の細かい布を使って、ピカピカに磨きあげましょう。



完成品

鏡はいつごろからあるの?

最初の鏡は水たまりに映った自分の姿を見たことがはじまりだったようです。水面に映った自分の姿を自分自身だと認知できるようになったことは、人類にとって大きな一歩だったのです。

人工的な鏡が作られたのは、正確には不明ですが、紀元前6200年ごろのトルコの遺跡や紀元前4000年ごろのエジプトの遺跡から出土したものが確認されている中で最も古い鏡であるといわれています。

日本に鏡が伝来したのは紀元前300年ごろの弥生時代とされています。以降、多くの中国鏡が日本列島に持ち込まれ、そして国内でも作られるようになりました。

もっと詳しく古代の鏡のことを知ろう



いまと同じように使われていたの?

鏡が伝来した当時は、顔を映す道具ではなく、祭祀などに用いられていました。弥生時代から古墳時代にかけては、権力者が亡くなった際、副葬品として埋葬されており、多くの鏡が出土する古墳もあります。

なぜ死者とともに埋葬したのでしょうか。古代の人々は、太陽の光を反射する鏡を「神聖なもの」ととらえていたようです。神秘的な鏡は、魔除けのため、また権力の象徴として埋葬されたと考えられます。



鏡はどうやって作っていたの?

最初は、黒曜石(黒いガラス)を磨いたものを使用していたようです。金や銀、銅、青銅などの金属を磨いた鏡は、エジプトで紀元前2800年ごろに登場します。

中国最古の鏡は翡翠を磨いたものでした。中国の鏡作りの技術は、戦国時代(紀元前475~前221年)とそれに続く漢王朝(紀元前206~後200年)で発達しました。銅と錫の合金である青銅をとがして型に流し込む、青銅鑄物の鏡が多く作られました。

日本では、弥生時代から古墳時代にかけて青銅製の鏡が作られ始めました。



生目の杜遊古館 イベント紹介

お申込み: 生目の杜遊古館 TEL 0985-47-8001

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、実施会場や定員が変更になる場合があります。

わくわく学芸員講座「扇づくり」



2月5日(日) 13:30~15:30

●対象: 子ども(小学5年生以上)と保護者・一般

●定員: 15名

●参加費: 500円

申込期間: 1月5日(木)~14日(土)

扇の歴史を学んだのち、自分だけのオリジナル扇を製作します♪

火おこしと飯盒炊飯体験



3月5日(日) 9:30~12:00

●対象: 子ども(小学生以上)と保護者

●定員: 30名

●参加費: 1人100円

申込期間: 2月5日(日)~14日(火)

火おこし器でおこした火を用いてご飯を炊きます♪親子の協力がカギとなります!

竹馬を作って遊ぼう



2月19日(日) 13:30~15:30

●対象: 子ども(小学3年生以上)と保護者

●定員: 30名

●参加費: 1対300円 ※1組1対の製作

申込期間: 1月19日(木)~28日(土)

竹でつくる昔ながらの竹馬を親子で作って遊びましょう☆

エコバッグの草木染め



3月19日(日) 13:30~15:30

●対象: 子ども(5歳以上)と保護者・一般

●定員: 30名

●参加費: 1枚150円 ※1組2枚まで

申込期間: 2月19日(日)~28日(火)

たまねぎの皮を煮詰めてエコバッグを好きな柄に染めてみよう!

宮崎が舞台?!あの神話にも鏡が登場!



アマテラスオオミカミが天岩戸にお隠れになったとき、八百万の神々は、アマテラスオオミカミに外に出てきてもらえるよう、天岩戸の前でお祭りを始めます。扉を少し開けたアマテラスオオミカミに「あなたより、もっと尊い神様が現れたのでお祝いをしています」と言い、鏡を見せました。鏡に映った自分の姿をもっとよく見ようと身を乗り出したところを引っ張り出したのでした。この鏡が三種の神器の一つである八咫鏡です。(『古事記』『日本書紀』より)

イベントスケジュール

●宮崎科学技術館 Facebook、 Twitter、 Instagramもチェック!!

1月 7日(土) **月面探査ロボットSORA-Qプロダクトモデル展示**
21日(土)
 JAXA×タカラトミーが共同で開発した月面探査ロボットSORA-Qプロダクトモデルの展示。

【時間】9:00～16:30 【対象】入館者ならどなたでも 【料金】入場料

1月 8日(日) **星空と音楽のタベPart125**
 大人向けのプラネタリウムコンサート。「星の話」・「CDコンサート」・そして「ライブコンサート」の3部構成。

【時間】17:30～19:30 【対象】中学生以上 【定員】240名
 【料金】前売り 500円 当日券 600円

1月 9日(月・祝) **スペシャルサイエンスショー「THE★フリクショー」**
 いつもより豪華なインストラクターによるサイエンスショーです。今回は「摩擦」をテーマに扱います☆

【時間】10:00～、12:30～、15:40～ 【対象】入館者ならどなたでも
 【料金】無料

1月11日(水) **えほんの読み聞かせinプラネタリウム**
 世界最大級のプラネタリウムに大型の絵本が登場!プラネタリウムならではの演出も!

【時間】11:00～11:30 【対象】幼児～大人 【定員】240名
 【料金】入館料

2月 8日(水) **キッズアワー**
11日(土・祝)
12日(日)
 幼児向けのプラネタリウム上映。泣いても、おしゃべりしてもOKなプラネタリウムです。

【時間】11:00～11:50 【対象】幼児～大人 【定員】240名
 【料金】入館料+プラネタリウム観覧料

【宮崎科学技術館】
休館日
1月 1日(日)・2日(月)・3日(火)・10日(火)・16日(月)・17日(火)・23日(月)・30日(月)
2月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・24日(金)・27日(月)
3月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・22日(水)・27日(月)

●大淀川学習館 Facebook、 Instagramもチェック!!

1月 4日(水) **【企画展】変身しよう!みんなの生き物アート展**
2月12日(日)
 身近な生き物になり撮影できます。

【時間】9:00～16:30 【対象】どなたでも(保護者同伴) 【料金】無料

1月 7日(土) **【わくわく工作】画用紙で手作りお寿司を作ろう!**
 色画用紙などを使ってお寿司作りをします。

【時間】10:30～11:30 【対象】どなたでも(保護者同伴) 【定員】15セット
 【料金】1セット200円

3月18日(土) **【企画展】春の芽吹きを感じよう!春の彩り展**
4月 9日(日)
 野草や園芸種を中心とした春の植物の展示。

【時間】9:00～16:30 【対象】どなたでも(保護者同伴) 【料金】無料

2月4日(土)～3月3日(金)に予定していました「春一番!ひな山展」は、諸事情により中止とさせていただきます。

【大淀川学習館】
休館日
1月 1日(日)・2日(月)・3日(火)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月)
2月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・24日(金)・27日(月)
3月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・22日(水)・27日(月)

各施設のイベントにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため運営方法等が変更になる場合がございます。ご来場の際には、各館のホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

宮崎市歴史資料館

●宮崎市生目の杜遊古館 Facebook、 Instagramもチェック!!

1月28日(土) **みんなの考古学講座⑤**
 内容:「橋山遺跡群(第1,第2,第3)－出る出る集石遺構－」
 講師:市川 勇樹 氏(宮崎市文化財課)

【時間】10:00～11:30 **要申込** **募集期間:1/14(土)まで**
 【対象】一般 【定員】50名 【料金】無料

1月29日(日) **古代米でぜんざいを作ろう**
 古代米を使ってぜんざいを作ります。

【時間】13:30～15:30 **要申込** **募集期間:1/4(水)～13日(金)**
 【対象】子ども(5歳以上)と保護者 【定員】30名 【料金】1人100円

2月 4日(土) **歴史文化講座⑨**
 内容:「宮崎の戦争 その2」
 講師:稲田 哲也 氏(南九州文化研究会)

【時間】10:00～11:30 **要申込** **募集期間:1/21(土)まで**
 【対象】一般 【定員】50名 【料金】無料

3月 4日(土) **歴史文化講座⑩**
 内容:「江戸の文化 II～美術工芸編～」
 講師:永井 淳生(生目の杜遊古館館長)

【時間】10:00～11:30 **要申込** **募集期間:2/18(土)まで**
 【対象】一般 【定員】50名 【料金】無料

●宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 Facebookもチェック!!

2月12日(日) **二見家住宅でかまど炊飯体験**
 幕末・明治期に建築された二見家住宅のかまどで美味しいご飯を炊きます。

【時間】10:00～14:00 **要申込** **募集期間:1/12(木)～21(土)**
 【対象】子ども(小学生以上)と保護者 【定員】20名 【料金】1名につき400円

3月15日(水) **【企画展】何が起きた!?地域の歴史展**
4月16日(日)
 当館所蔵の資料に記された「年号」をもとに、地域の歴史を紐解きます。

【時間】9:00～16:30 【対象】入館者ならどなたでも 【料金】無料

お申し込みの際は、各施設ホームページ・チラシで募集期間・申込方法などをご確認の上、お申し込みください。

【宮崎市生目の杜遊古館】	【宮崎市佐土原歴史資料館】
休館日 1月 1日(日)・2日(月)・3日(火)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月) 2月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・24日(金)・27日(月) 3月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・22日(水)・27日(月)	月曜日から金曜日まで(休日に当たる日、特別開館期間を除く) 年末年始 12月29日(木)～1月3日(火)

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】
3月15日(水)～4月14日(金)は特別開館期間につき休館日なし

●宮崎市民プラザ Facebook、 Twitterもチェック!!

【宮崎市民プラザ】
休館日
1月 1日(日)・2日(月)・3日(火)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月)
2月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)
3月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

令和4年8月1日(月)から令和5年3月31日(金)までの期間、ホール特定天井改修・空調工事等のため、全施設の貸館を中止しております。

公益財団法人宮崎文化振興協会 設立35周年記念事業

文化講演会

「徳川宗家から見た日本の歴史と文化」 ー黒潮連合が決めた関ヶ原の戦いー



【講師】
 徳川宗家19代当主
徳川家広氏 (公益財団法人徳川記念財団理事長)
 コーディネーター
大館真晴氏 (宮崎県立看護大学教授・当協会理事)

宮崎文化振興協会の設立35周年を記念して、「文化講演会」を開催します!
 講師に徳川宗家19代当主の徳川家広さんをお招きして、日本の歴史について講演をしていただきます。
 入場は無料!参加をご希望の方は、事前申込をお願いします。

日時 **令和5年 2月26日(日)**
 開場13:00 開演14:00 終演16:00
 会場 **ニューウェルシティ宮崎 2F**
「霧島・高千穂」

入場無料 ※要事前申込 対象:中学生以上(定員500名)

〈申込み方法〉
 協会HPの「文化講演会」案内情報にアクセスするか、右の二次元コードを読み取って、応募フォームから必要事項を入力し、送信してください。
※1回の申込みにつき2名まで。定員に達し次第受付終了。



■問い合わせ先 公益財団法人宮崎文化振興協会(宮崎科学技術館内) Tel 0985-41-7004 ※定休日:毎週月曜日(他12/29～1/3, 1/10, 1/17, 2/24)

新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる場合があります。予めご了承ください。

各館問い合わせ先

宮崎科学技術館 ()内は団体料金
 展示室[大人550円(430円)小人210円(170円)]
 展示室とプラネタリウム[大人760円(600円)小人310円(250円)]
 〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2
 TEL 0985-23-2700 FAX 0985-23-0791
<https://cosmoland.miyabunkyo.com>

宮崎市歴史資料館 <https://rekishi.miyabunkyo.com>
 問合せは宮崎市生目の杜遊古館 0985-47-8001
宮崎市生目の杜遊古館 (入館料無料)
 〒880-2101 宮崎市大字跡江4200番地3(生目古墳群隣接)
 TEL 0985-47-8001 FAX 0985-47-8202

宮崎市佐土原歴史資料館 (入館料無料)
 〒880-0301 宮崎市佐土原町上田島8227番地1

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 (入館料無料)
 〒880-2221 宮崎市高岡町内山3003番地56

大淀川学習館 (入館料無料)
 〒880-0035 宮崎市下北方町二反五瀬5348番地1
 TEL 0985-20-5685 FAX 0985-22-8481
<https://oyodo.miyabunkyo.com>

宮崎市民プラザ
 〒880-0001 宮崎市橋通西1丁目1番2号
 TEL 0985-24-1008 FAX 0985-29-2244
<https://www.siminplaza.com>

「まなぶんか」とは
 “文化”を英訳するとCulture。語源はラテン語で“耕す”を意味するColereです。当協会では、管理運営している6つの教育文化施設と協会事務局が、市民の皆様様の学ぶ心を“耕す”役割となれるよう、「学ぶ」と「文化」を合わせた「まなぶんか」を機関誌名としました。

Column 職員のひとりごと

大淀川学習館 主事 吉田 昂史



私は小さい頃から昆虫が好きです。そこで、虫の面白いところ等を来館者の方に知ってもらえるように、日頃から昆虫について調べています。毎日

昼休みになると、虫捕り網をもって1人で里山の楽校まで登ります。捕まえた昆虫は写真に撮って、図鑑で調べ、見つけた日を記録しています。特に今年は様々なトンボに出会うことができました。大淀川学習館周辺にはトンボが多く、メダカ池と里山の楽校のどちらでもトンボを見ることができます。

トンボをよく観察すると、見た目が似ていても種類が違ったり、色が違っても同じ種類だったり、調べれば調べるほど、いろいろな発見や驚きがあります。冬になるとトンボは見かけなくなりますが、他の様々な昆虫に出会えます。今回特集をした生目の杜遊古館でも、近くに生目古墳群史跡公園などがあり、たくさんの昆虫が見られるそうです。みなさんも探してみたいかがでしょうか。